

※用語解説

キーワード

プッシュ型情報発信	ユーザー（市民）が必要な情報を取りに行くのではなく、広告主（市）が積極的に情報を届けるタイプの広報手法。
PPP （ Public Private Partnership）	公民連携。民間資本や民間のノウハウを活用し、効率化や公共サービスの向上を目指すもの。委託、指定管理、PFIなどを含む概念。
ソーシャルインパクト ボンド	公民連携の仕組みの一つで、行政や民間事業者及び資金提供者等が連携して、社会問題の解決を目指す成果志向の取組。
CSR （Corporate Social Responsibility）	企業の社会的責任。企業が倫理的観点から事業活動を通じて、自主的に社会に貢献する責任のこと。
チャットボット	「チャット」と「ロボット」を組み合わせた言葉で、人工知能を活用した「自動会話プログラム」のこと。自治体でも、サービスの向上と業務効率化を目的に導入が広がっており、市民からの問い合わせ対応など、様々な形で活用されている。
データマイニング	統計学、パターン認識、人工知能等のデータ解析の技法を大量のデータに網羅的に適用することで知識を取り出す技術のこと。
内部統制	組織目的の達成を阻害する事務上の要因をリスクとして識別及び評価し、対応策を講じることで、事務の適正な執行を確保するしくみ。平成29年度地方自治法改正により、都道府県及び指定都市は方針策定や議会報告が義務付けられた。
タイムマネジメント	限られた時間で生産性を向上させるための行動をマネジメントする手法。
EBPM （Evidence-Based Policy Making）	政策の企画をその場限りのエピソードに頼るのではなく、政策目的を明確化したうえで合理的根拠（エビデンス）に基づくものとする。こと。